

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 地域子育て支援の充実

事業名 **子育て支援夜間養護等事業 (トワイライトステイ)**

[0923]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援子ども家庭課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>一時的に児童の養育が困難となった世帯の児童</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>保護者が一時的に児童の養育が困難となった場合でも、児童を預けられることにより、安心して子育てと仕事の両立への支援ができる。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>保護者が、仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となる家庭において児童を養育することが困難となった場合及びその他の緊急の場合において保護し、生活指導、食事の提供等を行なう</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	一時的に児童の養育が困難となった世帯の児童数	人	0	0	1	5
対象指標2	18歳未満の児童数	人	0	19,634	19,152	19,001
活動指標1	委託している児童養護施設等の数	施設	0	1	1	1
活動指標2	養育相談件数	件	0	72	105	78
成果指標1	児童養護施設等を利用した児童の延べ利用日数	日	0	0	1	30
成果指標2	児童養護施設等を利用した児童数	人	0	0	1	5
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1	50
正職員人件費 (B)		千円	0	0	803	405
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	804	455

費用内訳	
23年度	委託料 1千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
根拠は？

保護者が急な残業などにより一時的に児童を養育できない場合に、食事等を提供できる児童養護施設で児童を緊急的に預かることができるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

仕事と育児を両立させる上で必要な支援であるため。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
根拠は？

平成22年度新規事業
 実績はなかったが、保護者への子育て支援事業としての充実が図られた。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

江別市内で児童を預かる施設があると利用者増加につながる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
根拠は？

必要最小限度の経費で実施している。